

まちづくりと交通に関する懇談会 市民からの主な意見

第1回	:平成15年12月18日(木)	午後7時から
	東コミュニティセンター	参加人数 234名
第2回	:平成16年1月24日(土)	午後1時30分から
	清原工業団地管理センター	参加人数 232名
第3回	:平成16年1月29日(木)	午後7時から
	宇都宮市役所 大会議室	参加人数 151名
第4回	:平成16年2月7日(土)	午後1時30分から
	コンセーレ・アイリスホール	参加人数 159名

1 中心部の魅力づくりについて

- ・ 栃木は忘れられそうな県であると言われているが、そのためのインパクトは必要であるし、「バンブラ」が出来るように、街中の賑わいを取り戻してほしい。
- ・ まちの活性化という観点では、土地税制を見直すべき。
- ・ 安心して人が集まれるように、中心市街地はLRTと歩行者だけにすべき。
- ・ 中心部に人を集めるのであれば、もっと駐車場を整備すべき。例えば児童数が減っている中央小学校を、学区再編で統廃合した上で駐車場にし、建物は老人施設に転用することが望ましい。
- ・ 宇都宮城は、観光バスが他県から乗り入れてくるような活気あるものとして、まちづくりに活かすべき。

2 新交通とクルマとの関係について

- ・ 便利なクルマを否定するような考え方には、住民は、そう簡単に理解してくれないと思う。クルマとの共存を中心に考えるべき。
- ・ どんなに橋を架けてもクルマを減らさなければ、問題の解決にはならない。現状の交通システムを根本的に変えるべき。
- ・ 周辺道路の整備がなくては、導入実現の意味はない。
- ・ 新交通でも橋を架けることとなっているが、先行して道路橋として整備すべき。
- ・ LRT導入を道路拡幅なしに行うのであれば、日本各地で廃止された市電と同じくクルマと共存は出来ない。
- ・ 宮環を活かしたまちづくりも考えるべき。市街化調整区域などの網を外した上で土地利用を行うことが、宇都宮市の発展につながる。

3 既存バスの活用について

- ・ 知事は2本橋を架ければ渋滞は、解決すると言っているし、駅の東側はバス網を整備すれば良い。
- ・ LRT導入後、中心部に自家用車の乗り入れを規制するのであれば、新しいシステムを導入するような税金の無駄遣いをする前に、既存のバスや公共交通を活用する事も可能ではないか。
- ・ 宮環の整備で大通りは、以前より混雑が緩和された。これらを考慮して、空いた道路に既存のバスを活用することも検討を行うべき。
- ・ 駅の東側にバス網がないから整備をするというのは本末転倒。市民の足として本当に困っているのであれば、まずはバスを運行すべき。

4 全体計画や優先整備区間の考え方について

- ・ 高齢者の利便性を考えるなら、公共性の高い病院、健康の森やロマンチック村などにLRTを延長してほしい。
- ・ 当初計画が駅東から清原となっている。激しい交通渋滞や鉄道がなく公共交通が脆弱な事は理解できるが、採算性を考えれば、西が先ではないか。
- ・ 「工業団地の土地売却益を使うから東が先」という理屈もわからないものではないが、今まで中心市街地がどれだけ多くの税金を納めてきたのかを理解してほしい。
- ・ 人口1%の住民が税収の約20%を納めている事実、外環状線沿線を1とするとその2.5倍もの税金を納めているまちの中心街の苦労は計り知れない。全線若しくは西優先、桜十文字付近でストップではなく外環状線まで導入すべき。
- ・ パークアンドライドは、桜十文字付近には場所がなく不可能。可能な場所まで伸ばす(具体的には外環状線付近)には、桜十文字以西の大谷街道拡幅が必要となり、用地買収費など事業費が余計にかかるのではないか。

5 PR・説明手法について

- ・ 市民が理解できるように、費用対効果や経済波及効果をわかりやすく示すべき。
- ・ 地区毎に温度差がある。全体的な意義や恩恵について、全市に話を進めるべき。
- ・ 積極的な情報公開が必要。
- ・ 山梨県立美術館では、周囲の反対を押し切ってミレーの「種をまく人」を購入し、このことが、山梨県民、甲府市民の誇りにつながっていると聞く。安い・早い・安全だけではなく、まちを美しくするといった精神面での訴えが足りないのではないか。LRT導入を市民に対して、もっと積極的にPRしてほしい。

6 新交通システムを疑問視する意見

- ・ PRビデオやパンフレットは外国の事例を参考にしている。外国は都市構造なども違うので、外国で成功したからといっても、日本で実現するとは思えない。
- ・ 目の前にバス停があっても、料金の負担が大きく、家族で出かける際には、LRTを使わないで、クルマを使ってしまうと思う。

7 その他の事項

- ・ 大通りをJR宇都宮駅のところで横断させ東西をつなぐべき。朝夕の激しい渋滞を解決してほしい。そうしないと西側の再生も出来ない。
- ・ LRT導入実現までは、時間がかかる。その間にも運転が出来ない高齢者は増え続ける。現実的には日常生活をする上で、公共交通は高くて不便な状況にある。65歳以上のバス定期の優待券でバス利用者が増えた事例がある。導入前にも対応を考えるべき。
- ・ 聴覚障害者の立場から、電光掲示などは車輦や駅には考えるべき。また、トランジットモールを歩く際に後ろから車輦が来た時、わかるよう工夫すべき。
- ・ 小回りのきく「きぶな」のようなきめが細かいサービスを提供することが今後のニーズに合致する。
- ・ 宇都宮市の自転車マナーについて、早急に対応をすべき。
- ・ 欧州のように歩行者、自転車、クルマを分けて高齢者がおしゃべりをしながら安心して歩けるような歩道を整備すべき。